

### 企画概要

「キャンドルで人と地球の暖かい関係を築いていこう！！」をスローガンに、電気エネルギーを見直すきっかけ作りを提供する企画です。

地域の小学校で児童とともに、廃油を使ってキャンドルを製作し、環境問題に対しての授業を行う。子どもたちが先頭にたつて家族や回りの大人の意識を変えて欲しいという想いもありました。

### 活動結果

2008年、8月27日に大宮小学校でキャンドル作りのイベントを開催することが出来ました。児童の各家庭から、使用済みのてんぷら油を持参してもらい、学生スタッフがグループのリーダーとなり児童に一つ一つキャンドルの作り方を教えていきます。当日の児童の数は、6学年144名でした。こちらのメンバーは23人と少なかったですが、当日は学生も児童も楽しいキャンドル作りができました。

9月27日に行われたサタデージャンボリーに出展させていただきました。サタデージャンボリーでは、小さいお子様がメインの相手であったため、キャンドルを製作する際にいろいろ工夫を凝らしました。まず、低学年の児童たちが集まると危険が及ぶ可能性があったため、保護者同伴であることとキャンドル作りを体験出来る人は1回につき30人と人数制限を設けました。

当日は3回キャンドル作りを行いました。どの回も30人以上の子どもたちが参加しに来てくれました。廃油キャンドルは、保護者のみなさまに大変高く評価していただき、どの方も「家で子どもとキャンドルを作ってみる」とおっしゃってくれました。

あと、12月頃に大きな場所を借りて、地域の人たちを対象にしたキャンドル作りのイベントを行う予定でしたが、諸事情により断念しました。

### 感想

キャンドル eco プロジェクトを通して、大学外の方たちとコミュニケーションをとることの難しさを痛感しました。このプロジェクトは、地域の小学校との協力なくして成立しません。特に小学校という閉鎖的な場所に、自分たちが考えた企画を売り込みに行くことが難しかったです。地域の小学校10校ほどと連絡を取りましたが、私が直接学校に訪問し、プレゼンテーションを聞いてもらえたのは1校だけでした。そういう意味においても、何事にもチャレンジしてみる事が大切なんだと思います。話を聞いてもらえる学校がなくても、とにかく連絡をとってみる事が大事でした。

また、一緒にプロジェクトを進めてくれたチームの有難さも感じました。当然一人では出来なかったです。しっかり各々が役割を理解して行動してくれたおかげでプロジェクトを進めることが出来ました。

最後に、サギタリウス・チャレンジはこれからさらに進化していくと思います。学生のチャレンジ精神を促すと共に、新たな出会いや経験を提供してくれる良いきっかけになるプログラムだと思います。是非、いろんな方にチャレンジしてもらいたいです。